

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 株式会社伸和ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7118 URL <https://shinwa-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 稔之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大野 誠 TEL 011 (624) 7871
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 -
 発行者情報提出予定日 2024年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	5,871	9.6	188	250.3	208	△23.7	140	1.2
2023年3月期	5,359	34.1	53	-	273	64.9	138	878.2

(注) 包括利益 2024年3月期 140百万円 (1.2%) 2023年3月期 138百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	107.76	104.96	30.4	8.2	3.2
2023年3月期	106.51	103.48	40.4	8.1	1.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 (-%) 2023年3月期 -百万円 (-%)

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2023年1月26日に東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに上場したため、2023年3月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年3月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,074	511	24.6	393.14
2023年3月期	3,033	411	13.5	316.37

(参考) 自己資本 2024年3月期 511百万円 2023年3月期 411百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	225	△54	△1,172	744
2023年3月期	316	△142	△845	1,745

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	-	0.00	-	31.00	31.00	40	29.1	9.7
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 2025年3月期の配当予想については、現時点で未定であります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,883	2.9	66	△1.9	71	△0.5	54	9.1	42.11
通期	5,921	0.9	170	△9.6	180	△13.7	132	△5.7	101.57

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	1,300,000株	2023年3月期	1,300,000株
2024年3月期	—株	2023年3月期	—株
2024年3月期	1,300,000株	2023年3月期	1,300,000株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	5,867	9.6	174	291.3	204	△25.9	135	△3.7
2023年3月期	5,355	36.1	44	—	275	71.8	140	473.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	104.16	101.46
2023年3月期	108.14	105.07

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2023年1月26日に東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに上場したため、2023年3月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年3月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	2,024	501	24.8	385.92
2023年3月期	2,949	406	13.7	312.76

(参考) 自己資本 2024年3月期 501百万円 2023年3月期 406百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症へ移行されたことに伴い、人流が徐々に拡大するとともに経済活動の正常化が進み、景気回復に向かう動きが鮮明になりました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、資源価格の高騰、円安や人手不足によるコスト増加、消費者行動・価値観の変化等の影響により、国内における経済の先行きは不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、来店客数及び売上高は順調に回復に向っております。一方で、人手不足、原材料や光熱費の高騰等の影響により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループが運営する飲食事業の店舗では、個人客の来店及び団体客による宴会需要は順調に回復しており、固定費の圧縮のための施策を継続的に講じるとともに、原材料価格の高騰を踏まえた自社工場における製造の効率化等、収益性の改善に向けた取り組みを推し進めてまいりました。併せて、コーポレートスローガンである「食を通じてあふれる感動」に基づき、飲食事業及び物販事業における販売及び店舗展開の強化、人材の確保及び育成を引き続き積極的に進めるとともに、卸売事業の拡充にも注力してまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<飲食事業>

飲食事業におきましては、「居酒屋」業態が新たに2店舗出店し、1店舗退店した結果、当連結会計年度末における店舗数は41店舗となりました。繁華街の店舗を中心に来店客数及び宴会需要が増加し、営業成績は堅調に推移したことにより、飲食事業における売上高は3,673,878千円（前年同期比23.5%増）、セグメント利益は439,198千円（前年同期比40.8%増）となりました。

<物販事業>

物販事業におきましては、「惣菜販売」業態が新たに1店舗出店し、当連結会計年度末における店舗数は53店舗となりました。新規出店の店舗及び既存店舗ともに来店客数は堅調に推移し、様々な施策を講じつつ、原価管理を適正に行ったことにより、物販事業における売上高は2,065,984千円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は199,516千円（前年同期比19.9%増）となりました。

<卸売事業>

卸売事業におきましては、新規取引先の開拓及び既存取引先からの追加受注等が計画を下回ったため、売上高は131,831千円（前年同期比66.3%減）、セグメント損失は1,433千円（前連結会計年度はセグメント損失4,383千円）となりました。

これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高5,871,694千円（前年同期比9.6%増）、営業利益188,758千円（前年同期比250.3%増）、経常利益208,818千円（前年同期比23.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益140,094千円（前年同期比1.2%増）となりました。なお、特別損失といたしましては、減損損失18,364千円を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は2,074,747千円となり、前連結会計年度末に比べ958,420千円減少いたしました。これは、流動資産が914,447千円減少し1,399,967千円となったこと及び固定資産が43,973千円減少し674,780千円となったことによるものであります。

これは主に、商品及び製品が43,729千円、売掛金が30,504千円増加し、現金及び預金が1,001,046千円、原材料及び貯蔵品が26,770千円、機械装置及び運搬具が26,680千円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,563,666千円となり、前連結会計年度末に比べ1,058,215千円減少いたしました。これは、流動負債が45,129千円減少し905,716千円となったこと及び固定負債が1,013,086千円減少し657,949千円となったことによるものであります。

これは主に、長期借入金が1,002,543千円減少したこと及び1年内返済予定の長期借入金が118,603千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は511,081千円となり、前連結会計年度末に比べ99,794千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益140,094千円の計上によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は11.1ポイント増加し、24.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1,001,046千円減少し、744,844千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は225,607千円となりました(前連結会計年度は316,614千円の資金増)。これは主に、税金等調整前当期純利益190,454千円、減価償却費88,020千円、未払金及び未払費用の増加額60,693千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は54,383千円となりました(前連結会計年度は142,850千円の使用)。これは主に、有形固定資産の取得による支出62,819千円、補助金の受取額7,500千円等によるものであります。なお、補助金の受取額7,500千円は、有形固定資産等の取得を目的として使途を特定されているため投資活動によるキャッシュ・フローに計上しているものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,172,270千円となりました(前連結会計年度は845,044千円の使用)。これは、主に長期借入金の返済による支出1,121,146千円、配当金の支払額40,300千円、リース債務の返済による支出10,824千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことで、経済社会活動の正常化による人流や個人消費の回復が強まる一方、ウクライナ情勢をはじめとする地政学リスクの高まり及び世界的なエネルギー価格の高騰に加え、為替相場の急激な変動によって経営に大きな影響を受けると考えられ、経済活動が停滞する恐れがあります。

このような状況の下、コーポレートスローガンである「食を通じてあふれる感動」に基づき、飲食事業、物販事業及び卸売事業の拡充に注力しつつ、人材の確保及び育成を計画的に進めてまいります。

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては、次のとおり見込んでおります。

売上高	5,921 百万円
営業利益	170 百万円
経常利益	180 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	132 百万円

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項がありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していること等から、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえ、必要に応じて検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,745,890	744,844
売掛金	253,043	283,547
商品及び製品	220,321	264,050
原材料及び貯蔵品	39,263	12,493
その他	57,396	96,530
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	2,314,414	1,399,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	129,128	127,208
機械装置及び運搬具(純額)	158,887	132,206
工具、器具及び備品(純額)	54,052	50,434
土地	91,479	91,479
リース資産(純額)	35,755	25,365
建設仮勘定	6,867	-
有形固定資産合計	476,170	426,694
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
敷金及び保証金	172,405	170,573
繰延税金資産	55,251	63,341
その他	14,926	14,170
投資その他の資産合計	242,582	248,086
固定資産合計	718,753	674,780
資産合計	3,033,168	2,074,747

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	220,561	209,170
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	256,853	138,250
リース債務	11,313	11,802
未払金	203,327	229,843
未払費用	45,034	53,795
未払法人税等	21,957	48,119
賞与引当金	2,611	10,638
店舗閉鎖損失引当金	183	-
資産除去債務	534	177
その他	88,468	103,917
流動負債合計	950,845	905,716
固定負債		
長期借入金	1,556,921	554,378
リース債務	28,023	16,709
資産除去債務	85,091	85,862
その他	1,000	1,000
固定負債合計	1,671,036	657,949
負債合計	2,621,881	1,563,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,000	13,000
利益剰余金	398,286	498,081
株主資本合計	411,286	511,081
純資産合計	411,286	511,081
負債純資産合計	3,033,168	2,074,747

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	5,359,665	5,871,694
売上原価	2,196,640	2,200,895
売上総利益	3,163,024	3,670,799
販売費及び一般管理費	3,109,146	3,482,041
営業利益	53,877	188,758
営業外収益		
受取利息及び配当金	45	25
受取賃貸料	3,649	-
受取保険金	10,734	4,430
補助金収入	220,794	7,644
協賛金収入	13,004	18,970
その他	2,475	1,994
営業外収益合計	250,704	33,065
営業外費用		
支払利息	12,837	5,388
不動産賃貸原価	981	-
現金過不足	5,398	6,898
賃貸借契約解約損	8,848	-
その他	2,791	717
営業外費用合計	30,856	13,004
経常利益	273,725	208,818
特別利益		
固定資産売却益	32	-
投資有価証券売却益	4	-
特別利益合計	37	-
特別損失		
減損損失	65,940	18,364
店舗閉鎖損失引当金繰入額	183	-
投資有価証券評価損	796	-
特別損失合計	66,919	18,364
税金等調整前当期純利益	206,842	190,454
法人税、住民税及び事業税	21,961	58,450
法人税等調整額	46,415	△8,090
法人税等合計	68,377	50,359
当期純利益	138,465	140,094
親会社株主に帰属する当期純利益	138,465	140,094

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	138,465	140,094
包括利益	138,465	140,094
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	138,465	140,094
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	13,000	259,821	272,821	272,821
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益		138,465	138,465	138,465
当期変動額合計	—	138,465	138,465	138,465
当期末残高	13,000	398,286	411,286	411,286

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	13,000	398,286	411,286	411,286
当期変動額				
剰余金の配当		△40,300	△40,300	△40,300
親会社株主に帰属する当期純利益		140,094	140,094	140,094
当期変動額合計	—	99,794	99,794	99,794
当期末残高	13,000	498,081	511,081	511,081

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	206,842	190,454
減価償却費	105,558	88,020
減損損失	65,940	18,364
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,279	8,027
受取利息及び受取配当金	△45	△25
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△2,995	△183
支払利息	12,837	5,388
売上債権の増減額(△は増加)	6,207	△30,504
棚卸資産の増減額(△は増加)	△89,740	△16,959
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,124	△30,613
未払又は未収消費税等の増減額	90,173	10,280
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	13,781	60,693
受取保険金	△10,734	△4,430
補助金収入	△220,794	△7,644
協賛金収入	△13,004	△18,970
投資有価証券評価損(△は益)	796	-
賃貸借契約解約損	8,848	-
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△16,042	△21,927
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△837	△2,416
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△143	4,992
その他	2,475	2,672
小計	152,719	255,217
利息及び配当金の受取額	45	25
利息の支払額	△12,580	△5,012
保険金の受取額	10,734	4,430
補助金の受取額	160,794	144
協賛金の受取額	9,125	3,090
法人税等の支払額	△4,223	△32,288
営業活動によるキャッシュ・フロー	316,614	225,607
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△195,634	△62,819
有形固定資産の売却による収入	32	-
敷金及び保証金の差入による支出	△11,820	△566
敷金及び保証金の回収による収入	4,516	1,113
資産除去債務の履行による支出	△139	-
補助金の受取額	60,000	7,500
その他	196	388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,850	△54,383
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600,000	-
長期借入金の返済による支出	△233,393	△1,121,146
リース債務の返済による支出	△11,651	△10,824
配当金の支払額	-	△40,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△845,044	△1,172,270
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△671,280	△1,001,046
現金及び現金同等物の期首残高	2,417,171	1,745,890
現金及び現金同等物の期末残高	1,745,890	744,844

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループの事業は、「飲食事業」、「物販事業」及び「卸売事業」の3つの事業セグメントで構成されています。各事業は、事業を展開する経済、競争及び規制環境に特化したサービスに重点をおいた戦略が必要なため、個別に管理されています。

「飲食事業」は、北海道及び首都圏において食材と美味しさにこだわった居酒屋を中心とした飲食店の経営を行っています。

「物販事業」は、北海道、東北エリア及び首都圏において安心・安全な食材を使用したお惣菜のお持ち帰り専門店等を経営しています。

「卸売事業」は、冷凍加工食品の企画・製造・卸売販売を行っています。商品の特徴としては、大手食品メーカーと共同開発を行い、メーカーの代表的な商品にアレンジを加えたオリジナル商品を販売しています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、当期連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	飲食事業	物販事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,974,419	1,993,821	391,425	5,359,665	—	5,359,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,974,419	1,993,821	391,425	5,359,665	—	5,359,665
セグメント利益又は損失(△)	312,006	166,423	△4,383	474,045	△420,167	53,877
セグメント資産	529,517	395,940	57,951	983,409	2,049,758	3,033,168
その他の項目						
減価償却費	50,510	44,628	—	95,139	10,419	105,558
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	114,923	129,201	—	244,124	—	244,124

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益又は損失の調整額△420,167千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2)セグメント資産の調整額2,049,758千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
- (3)減価償却費の調整額10,419千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの事業は、「飲食事業」、「物販事業」及び「卸売事業」の3つの事業セグメントで構成されております。各事業は、事業を展開する経済、競争及び規制環境に特化したサービスに重点をおいた戦略が必要なため、個別に管理されております。

「飲食事業」は、北海道及び首都圏において食材と美味しさにこだわった居酒屋を中心とした飲食店の経営を行っております。

「物販事業」は、北海道、東北エリア及び首都圏において安心・安全な食材を使用したお惣菜のお持ち帰り専門店等を経営しております。

「卸売事業」は、冷凍加工食品の企画・製造・卸売販売を行っております。商品の特徴としては、大手食品メーカーと共同開発を行い、メーカーの代表的な商品にアレンジを加えたオリジナル商品を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、当期連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	飲食事業	物販事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,673,878	2,065,984	131,831	5,871,694	—	5,871,694
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,673,878	2,065,984	131,831	5,871,694	—	5,871,694
セグメント利益又は損失(△)	439,198	199,516	△1,433	637,281	△448,523	188,758
セグメント資産	534,483	381,725	53,937	970,146	1,104,601	2,074,747
その他の項目						
減価償却費	50,252	32,749	—	83,002	5,018	88,020
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	52,472	9,610	—	62,082	2,350	64,432

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益又は損失の調整額△448,523千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2)セグメント資産の調整額1,104,601千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。
 - (3)減価償却費の調整額5,018千円は、管理部門の資産に係る減価償却費であります。
 - (4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,350千円は、管理部門の資産に係る増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	316.37円	393.14円
1株当たり当期純利益	106.51円	107.76円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	103.48円	104.96円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社は2023年1月26日に東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに上場したため、2023年3月期における潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2023年3月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	138,465	140,094
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	138,465	140,094
普通株式の期中平均株式数(株)	1,300,000	1,300,000
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	37,994	34,627
(うち新株予約権(株))	(37,994)	(34,627)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。